

# 中央大学学員会 中大技術士会支部

## ニュースレターvol.46

会員の皆様へ

今年は例年のない暖冬で、私の住む新潟では除雪車が一度も出動しない年となりました。例年、朝早く起きて駐車場の除雪をしないと車を出すことができませんが、今年は大変楽な冬となりました。地球の温暖化が進んでいることを実感させられる冬となりました。

さて、今は昨年12月に中国武漢から始まった新型コロナウイルスによる感染が全世界に広がり、経済活動に重大な影響を及ぼしています。経済のグローバル化に伴う人の交流が急速な感染拡大につながったと考えられます。中国が世界経済に大きな役割を果たしている現実と、日本の製造業が如何に中国に依存しているかということを実感させられています。日本はものづくりで生きてきた国だと思っていましたが、今は中国にその座を奪われているのではないのでしょうか。がんばろう日本。

本会では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。中大技術士会のホームページ(<http://www.chuo-u-pej.org/>)から投稿用のフォームをダウンロードしていただき、投稿してください。

内 容	ページ
<b>巻頭言</b>	2 ページ
技術士に求められているスキル「コミュニケーション能力」について 山下三雄さん 建設部門・総合技術監理部門	2 ページ
<b>活動報告</b>	3 ページ
■ 幹事会報告	3 ページ
■ 大学支援部会活動報告	4 ページ
■ 広報部会活動報告	4 ページ
■ CO2環境対策技術研究会活動報告	4 ページ
<b>活動計画</b>	4 ページ
■ 企画部会活動計画	4 ページ
■ 大学支援部会活動計画	5 ページ
■ CO2環境対策技術研究会活動計画	5 ページ
<b>リレーエッセイ</b>	5 ページ
■ 「ロシア沿海地方」：宗裕二さん（経営工学部門）	5 ページ
<b>投稿エッセイ</b>	7 ページ
■ 「2020年度は、二次試験が厳しくなります」：坂林和重さん（電気電子部門）	7 ページ
<b>合格体験記</b>	9 ページ
■ 「技術士第二次試験合格体験記」 国友 信秀さん（総合技術監理部門）	9 ページ

- 技術士に求められているスキル「コミュニケーション能力」について  
中大技術士会幹事 山下 三雄さん  
(建設部門・総合技術監理部門—いずれも「都市及び地方計画」科目)

最近の技術士試験において受験者に求められているスキルの一つに「コミュニケーション」能力があります。ここ数年入社試験で求められる常にトップのスキルは正にこの能力です。確かに就業を含め社会生活において最も必要なことであることは、誰もが認めるところではないでしょうか。



コミュニケーションの基本はあくまでも相手の言葉を聞くことであって、自分の意見を述べることはありません。「聴く」という漢字を分解しますと、耳+目、心となります。耳で「聞く」だけでなく目さらに心で「聴く」ことが大事です。アメリカの心理学者ヴァーガスによりますと、言葉は伝達情報のわずか 35%にしかすぎず、残りの 65%は話しぶり・動作・アイコンタクト・イントネーション・間の取り方等のいわゆる「ボディラングウェッジ」にあるといっています。いかにインターネット等の情報テクノロジーが発達したとしても、単なる事務連絡はよしとしても正しい情報伝達はできません。コミュニケーションはあくまでも「Face to face」が基本であり、情報量（チャンネル・リッチネス）が最も多い。さらに理想的には「Heart to heart」でなければなりません。従って「人間力」が求められます。

もう一つ大事なことは、相手の立場に立ってその言葉を理解することにあります。自分の所属する会社等の組織の立場に立ってはいは、相手も本当のことはなかなか話しません。従って全く間違った対応になってしまいます。相手の立場に立ってものを考えると、全く違った視界が開けることがあります。時には自分の組織に反する行動さえ必要な場合があります。私も広島で経験した総事業費 500 億円の大規模都市開発事業で地権者との合意形成業務を進めましたが、会社に帰っても相手の立場でものをいうことが多く、支店長からよく「一体君はどこから給料をもらっているのだ。」とよく言われ、ボーナスの査定も低空飛行が続きましたが、なんとと言われようとも一貫してこの立場は堅持しました。その結果、たった 10 か月という短期間で地権者約 120 人のうちの 90%を超える方々から同意書を取得することに成功し、開発区域内の土地の約 1/2 を約 16 億円で先行取得していた所属会社の時間リスクを大幅に軽減しました。土地区画整理法によれば「所有権者及び借地権者の 2/3 以上の同意を取得しなければ、組合の設立認可ができない。」となっていますが、実務上は 80%以上の同意が求められていました。1 年間設立認可が遅れれば当時の金利が 6%近くありましたから、16 億円の 6%として約 1 億円が経済学で言うところの「機会費用」としての 1 年間当たりの時間リスクの評価額となります。私のその後の人生を決定づけたのは、この広島での経験が非常に重かったと今では思っています。

## ■ 幹事会報告

行事名	開催日程	活動概要
平成 31 年度 第 7 回幹事会	1 月 17 日（金） 18：30～20：30	<p>(1) 各部会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 総務部会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①11/30（土）東京都市大学で大技連総会が開催された。</li> <li>②令和 1 年技術士第 1 次試験の合格者発表があった。 （関東の大学については受験できなかったため、参考程度である。）</li> <li>③昨年 PE に掲載した論文を少し修正した形で土木学会の論文集に掲載するかどうかを検討する。</li> </ul> </li> <li>• 企画部会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①法曹会の担当者が決定した。法曹会としては開催時期・講演テーマについては特に希望はないとのこと。現時点では篠崎氏の講演を予定している。</li> <li>②令和 1 年度第 2 回講演会の講師等の詳細は未定。</li> </ul> </li> <li>• 広報部会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①田畑幹事のメーリングリスト登録、サーバーの更新手続きを完了した。</li> <li>②ニュースレターNo45 を発行した。合格体験談の原稿が不足しているので協力いただきたい。</li> <li>③技術士第 1 次試験の合格者歓迎会は規模を縮小して、2 月 8 日、6 月 20 日に開催される予定である。</li> </ul> </li> <li>• 大学支援部会           <ul style="list-style-type: none"> <li>①後期の技術者倫理の講義は 1 月 8 日をもって終了。「科学技術と倫理」について来年度は中尾、山下氏にお願いし、その後は中尾氏の後任として国友氏を予定。</li> <li>②大技連から大学へのヒヤリングの打診があり出席したが、内容は 1 次試験に係わるのか、文科省が絡む更新制度導入のことか、その他のことなのか不明。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) CO2 環境対策技術研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和 1 年第 2 回幹事会を 11 月 21 日に実施した。話題提供は金川副会長が行った。</li> <li>② 第 35 回研究会は 1 月 16 日に 13 名が参加して東芝未来館で実施した。想像以上に良い内容であった。</li> <li>③第 36 回研究会は地熱発電所を見学する予定である。</li> </ul> <p>(3) 各学科との協力事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 筏プロジェクト：進展はなし。1 月 28 日土木学会で國生先生が講演を行う予定である。</li> <li>• テクノロジー懇親会：進展はなし。諸麥先生を訪問する予定を立てる。</li> </ul> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①中大技術士会の紹介パンフレットの更新を計画中。</li> <li>②中大技術士会の総会は開催日として 6 月 6 日（土）、13 日（土）を予定している。</li> <li>③大技連の幹事の任期が満了となるので継続か交代について検討している。</li> </ul>

行事名	開催日程	活動概要
		④杉本教授（電気電子工学科）の最終講義が3月14日13時から行われる。 ⑤技術士稲門会原田会長が主催する勉強会に参加してほしい。（金川氏より）

#### ■ 大学支援部会活動報告

項目	内容
大技連からのヒヤリング協力	2020年01月31日 大技連から、大技連の参加大学に技術士資格と大学の協力内容についてヒヤリングを受けた。

#### ■ 広報部会活動報告

項目	内容
サーバー運営	①メールリングリストおよびWeb名簿のメンテナンス実施 ②会員からの要望によりメールリングリストの登録変更
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.45作成、発行
HP新規掲載	① ニュースレターvol.45の掲載 ② CO2環境対策技術研究会第35回研究会報告掲載
その他	①新規会員2名登録
会員の皆様へのお願い	① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org ② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談、2020年東京五輪への期待、何でも構いませんので、積極的な応募をお待ちします。 ③会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「 <u>趣味</u> 」を共通テーマとしたリレーエッセイを（Vol.36）より開始しました。執筆依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。

#### ■ CO2環境対策技術研究会活動報告

行事名	開催日程	活動概要
第35回研究会 研究会 13名 交流会 13名	R2年1月16日（木）	見学先：東芝未来科学館 交流会：千の庭川崎東口店
R1第3回幹事会 出席者 4名	R2年1月20日（月） 18:30～19:30 中大後楽園校舎5310号室	第35回研究会の報告 第36回研究会の企画 第37回研究会の企画

### 活動計画

#### ■ 企画部会活動計画

行事	日程	内容
中大技術士会 R2第1回講演会	未定	定時総会時の特別講演会として開催予定 講師・講演内容等未定

行事	日程	内容
法曹会との交歓会	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の幹事会では、5月の連休明けくらいでの開催としたが、新型コロナウイルスの影響が見えないため、開催時期については改めて検討を行うこととする。</li> <li>・5月時点で事態が収まっている可能性もあるが、現在の状況では予想することは難しいため、開催時期については今後状況を見ながら検討を行っていく。</li> </ul>

#### ■ 大学支援部会活動計画

行事	日程	内容
「科学技術と倫理」講義	5月～6月	講師（ゲストスピーカー）派遣
「キャリアデザインと倫理」講師（兼任講師）派遣	4月～6月	前期講義で6名講師派遣予定.
一次試験ガイダンス	6月	在学生に一次試験の紹介と受験のすすめ

#### ■ CO2環境対策技術研究会活動計画

行事名	開催日程	活動概要
R1 第4回幹事会	R2年3月26日（木） 18:30～19:30 中大後楽園校舎 5305号室	第36回研究会の企画 第37回研究会の企画 第11回報告会の企画
R1 第5回幹事会	R2年5月末 18:30～19:30 中大後楽園校舎 5310号室	第36回研究会の確認 第37回研究会の企画 第11回報告会の企画
第36回研究会	R2年5月末	見学先：松川地熱発電所 交流会：松川温泉

### リレーエッセイ

宗裕二さんからのリレーエッセイをお届けします。

#### ■ 「ロシア沿海地方」：宗 裕二さん（経営工学部門）

私は、日本能率協会コンサルティングに在籍し、約40年に渡り、主にものづくり企業の品質管理・品質保証活動をご支援させて頂いている。

ご縁があってロシアの日本国領事（外務省）が設置した日本センターが展開するセミナーで、講師を務めることになり、3年が経つ。ロシア沿海地方のビジネス界の皆さんに、日本企業が行っている品質管理・品質保証活動をご紹介するセミナーである。日本、及び日本企業を気に入って頂き、お互いの将来の経済活動に資することを目的としている。もちろん私共には守秘義務があるので、具体的内容はお話出来ないが、現場を知っている者として生々しいお話をすることができる。

沿海地方とは、極東ロシアの日本海沿岸にある地方で、ウラジオストック、ハバロフスク、といった都市が含まれる。夏はとても良い季節で過ごしやすいのだそうだが、その時期は、東方経





済フォーラムが開かれる時期で、日本からは総理大臣をはじめ、多くの政治家、財界人が訪れるために、沿海地方のお役人が忙しく対応できない。そこで、私が訪問する時期は、夏を外した季節となる。もちろん寒い。写真はハバロフスクから夜行列車で少し北に上がったところにある、コンソナムールスク・レ・アモーレという町にある工科大学である。入口にその日の温度が表示されているが、マイナス12℃となっている。実はこの日はとても暖かく、過ごしやすい日とのことであった。通常はマイナス25℃～マイナス40℃ほどになる。

ハバロフスクから飛行機で1時間ほどの場所であるが、私を含め一般人は大抵の場合、夜行列車を使ってここまで移動する。つい最近までは外国人の立ち入りが禁止されていた政府肝いりの工業都市で、製鉄業、鉄道事業などがあり、戦闘機を作っているスホーイ社の工場もある。この工科大学はそうした工業を支える人々を輩出しているのであろうと思う。外は寒いが中は快適である。外の移動中は毛皮のコートなどの身を包んでいるが、コートを脱ぐと薄着である。日本の春着くらいのイメージだ。



私も毎回、ハバロフスクから夜行列車でここまで来て、セミナーを終えると夜行列車でハバロフスクに戻る。夜行列車もとても快適だ。寝台車両のコンパートメントは相部屋であるが、安全の為に、私は一人でコンパートメントの個室を借り切って移動している。治安上の不安を感じたことはないが、最近までギャングの抗争事件などがあったようで、大事を取っての利用である。列車の移動はとても快適で、翌朝の到着時間に合わせてゆっくり走る。日本の鉄道の時間的正確さは有名だが、ここロシアの鉄道も時間に正確である。共同利用だがシャワールームもあり、Wifi環境も整っている。車掌さんが、夜のうちに朝食のオーダーをとってくれ、ついでに少々のお土産を売り捌く。こちらがメインの仕事かと思うほどお土産の説明には熱心である。収入の良いアルバイトなのかも知れない。(写真は夜行列車のコンパートメント内部) 個室の鍵は、電子キー(カード)である。

ロシアにあまり馴染みが無かった私は、いくつかの都市を数回訪問するうちに、大分、ロシアに対する印象が変わった。ロシアの人種はとても多様である。同時に料理も多様だ。本当にいろいろな人種がいるし、色々な食べ物がある。そして、「日本が好だ」と言っ



てくる方が多い。最も、日本領事館主催の日本人講師のセミナーに参加しようという人たちだから、当然かもしれないが、日本のことをよく勉強しており、日本式の改善活動や、日本の改善思想、道具などについてとても詳しい。ある企業の現場を見せて頂いたが、改善活動を行うための

サークルが結成されており、活動掲示板もあり、生々しい活動内容が書かれていた。いろいろな質問を受けたが、机上の問題ではなく、実際の問題に取り組んでいるからこそできる質問が多く、改善することへの熱意も伝わってくる。勿論、課題も多くあり、日本企業を比べることは早計であるかもしれないが、随分と頑張っているという印象だ。ここコンソナムールスク・レ・アモーシが極東地域にある工業都市であるからかも知れないが、日本での活動をかなり意識しているし、やがては日本とビジネス上の関係を築くことを強く意識していると感じる。

今回は、新しく入会された佐藤さんをお願いします。

## 投稿エッセイ

■ 「2020年度は、二次試験が厳しくなります」：坂林和重さん（電気電子部門）

3月6日（金）に2019年度の二次試験の合格発表が、ありました。予想された結果ですが、ある程度難易度が緩和されました。結果は、下記です。

### 1. 技術部門別試験結果

（ ）は、JABEE修了者で内数

技術部門	受験申込者数		受験者数		合格者数		対受験者合格率	
機 械	1,109	(124)	980	(111)	190	(16)	19.4%	(14.4%)
船 舶・海 洋	10	(2)	10	(2)	3	(0)	30.0%	(0%)
航 空・宇 宙	64	(1)	57	(1)	8	(0)	14.0%	(0%)
電 気 電 子	1,465	(54)	1,229	(43)	150	(4)	12.2%	(9.3%)
化 学	149	(13)	135	(12)	29	(3)	21.5%	(25.0%)
織 維	45	(1)	39	(1)	8	(0)	20.5%	(0%)
金 属	85	(10)	76	(9)	25	(2)	32.9%	(22.2%)
資 源 工 学	24	(1)	21	(1)	5	(1)	23.8%	(100%)
建 設	17,533	(2,821)	13,546	(2,237)	1,278	(203)	9.4%	(9.1%)
上 下 水 道	1,863	(187)	1,446	(158)	173	(25)	12.0%	(15.8%)
衛 生 工 学	672	(45)	558	(36)	45	(3)	8.1%	(8.3%)
農 業	1,044	(77)	796	(59)	86	(5)	10.8%	(8.5%)
森 林	327	(16)	266	(14)	57	(1)	21.4%	(7.1%)
水 産	157	(26)	126	(24)	19	(2)	15.1%	(8.3%)
経 営 工 学	300	(12)	258	(11)	36	(0)	14.0%	(0.0%)
情 報 工 学	496	(22)	408	(17)	30	(2)	7.4%	(12%)
応 用 理 学	701	(125)	576	(111)	82	(17)	14.2%	(15.3%)
生 物 工 学	40	(4)	38	(3)	10	(1)	26.3%	(33%)
環 境	613	(39)	493	(34)	78	(7)	15.8%	(20.6%)
原子力・放射線	103	(5)	88	(5)	17	(0)	19.3%	(0%)
総合技術監理	3,890	(143)	3,180	(118)	490	(18)	15.4%	(15.3%)
合 計	30,690	(3,728)	24,326	(3,007)	2,819	(310)	11.6%	(10.3%)

【参考】女性内数 1,575 380 1,285 322 204 40 15.9% (12.4%)

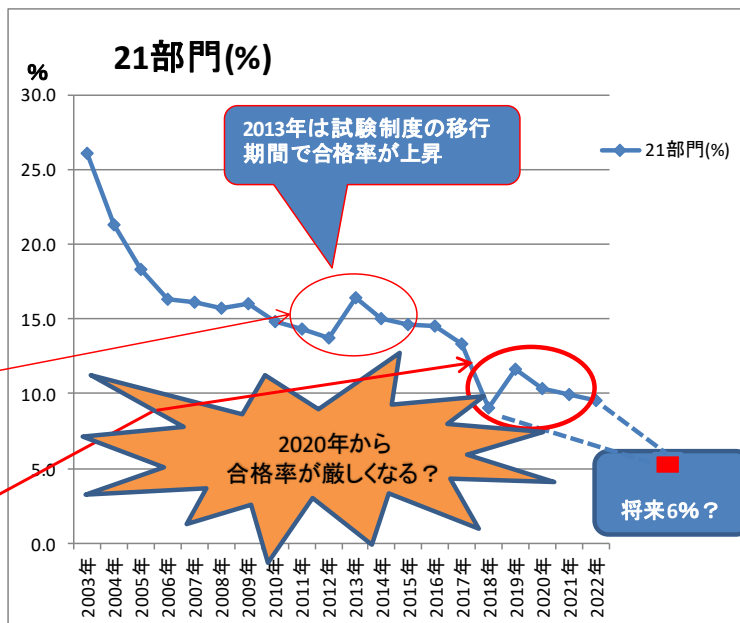
※JABEE修了者：文部科学大臣が、第一次試験の合格と同等であるとして指定した  
大学等の教育機関課程修了者

全体的には、合格率が前年よりも2.5%アップしました。昨年在約9%なので3割程度難易度の緩和となっています。といっても過去の合格率を考えると昨年に続き2番目に低い合格率です。合格率が低かったのは、情報工学部門が(6.5%⇒7.4%)、衛生工学部門が(10.8%⇒8.1%)、建設部門が(6.3%⇒9.4%)の3部門です。この3部門は、来年も厳しいと思います。総合技術監理部門(6.4%⇒15.3%)は、難易度が少し和らぎました。しかしながら、総合技術監理部門が、すでに20部門のいずれかの技術士試験に合格した人が受験する部門と考えると、最難関部門になった感があります。

さて今後の合格率を予想すると下記のように考えられます。

合格率の(2003年～2022年)年度推移と予想

合格率(%)	
	21部門(%)
2003年	26.1
2004年	21.3
2005年	18.3
2006年	16.3
2007年	16.1
2008年	15.7
2009年	16.0
2010年	14.8
2011年	14.3
2012年	13.7
2013年	16.4
2014年	15.1
2015年	14.7
2016年	14.57
2017年	13.34
2018年	9.09
2019年	11.6
2020年	10.3
2021年	9.9
2022年	9.5



すなわち、全部門の合格率で2020年(10.3%)と2021年(9.9%)になると考えられます。ただし、2020年は、10.3%に厳しくなりますが、新試験制度に対応した人は、合格できます。従来通りの勉強をしている人は、不合格です。

2020年度も採用される新試験制度は、次の資質(コンピテンシー)によって採点される制度です。

### 1、専門的学識

技術士が専門とする技術分野(技術部門)の業務に必要な、技術部門全般にわたる専門知識及び選択科目に関する専門知識を理解し応用すること。

技術士の業務に必要な、我が国固有の法令等の制度及び社会・自然条件等に関する専門知識を理解し応用すること。

### 2、問題解決

業務遂行上直面する複合的な問題に対して、これらの内容を明確にし、調査し、これらの背景に潜在する問題発生要因や制約要因を抽出し分析すること。

複合的な問題に関して、相反する要求事項(必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等)、それらによって及ぼされる影響の重要度を考慮した上で、複数の選択肢を提起し、これらを踏まえた解決策を合理的に提案し、又は改善すること。

### 3、マネジメント

業務の計画・実行・検証・是正(変更)等の過程において、品質、コスト、納期及び生産性と



リスク対応に関する要求事項、又は成果物（製品、システム、施設、プロジェクト、サービス等）に係る要求事項の特性（必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等）を満たすことを目的として、人員・設備・金銭・情報等の資源を配分すること。

#### 4、評価

業務遂行上の各段階における結果、最終的に得られる成果やその波及効果を評価し、次段階や別の業務の改善に資すること。

#### 5、コミュニケーション

業務履行上、口頭や文書等の方法を通じて、雇用者、上司や同僚、クライアントやユーザー等多様な関係者との間で、明確かつ効果的な意思疎通を行うこと。

海外における業務に携わる際は、一定の語学力による業務上必要な意思疎通に加え、現地の社会的文化的多様性を理解し関係者との間で可能な限り協調すること。

#### 6、リーダーシップ

業務遂行にあたり、明確なデザインと現場感覚を持ち、多様な関係者の利害等を調整し取りまとめることに努めること。

海外における業務に携わる際は、多様な価値観や能力を有する現地関係者とともに、プロジェクト等の事業や業務の遂行に努めること。

#### 7、技術者倫理

業務遂行にあたり、公衆の安全、健康及び福利を最優先に考慮した上で、社会、文化及び環境に対する影響を予見し、地球環境の保全等、次世代に渡る社会の持続性の確保に努め、技術士としての使命、社会的地位及び職責を自覚し、倫理的に行動すること。

業務履行上、関係法令等の制度が求めている事項を遵守すること。

業務履行上行う決定に際して、自らの業務及び責任の範囲を明確にし、これらの責任を負うこと。

今年の技術士試験の合格を目指す人は、これらの項目に沿って勉強して下さい。そうでなければ、ムダな勉強になって不合格となってしまいます。

しかしながら、新試験制度に対応でき無い人をしり目に対応できる人は、合格できます。

新試験制度に対応した勉強方法は、6月6日（土）に中大技術士会でセミナーを開催して解説をしようと思います。5月中旬になりましたら、時間と場所を公開しますので、もし良かったら、参加してください。

## 合格体験記

技術士第二次試験に合格された国友信秀さんの合格体験記をご紹介します。

■「技術士第二次試験合格体験記」：国友 信秀さん（理工学部応用化学科平成6年卒業、令和元年度 総合技術監理部門 合格、現在、エンジニアリング会社に勤務）

### 1. 総合技術監理部門の受験動機について

平成31年度、生物工学部門に合格、そして令和元年度、総合技術監理部門（以下、総監）に合格することが出来ました。生物工学部門に合格して、すぐに総監を受験しようと思った動機を以下に記します。



## 1) 青本（技術士制度における総合技術監理部門の技術体系）との出会い

生物工学部門に合格する前のエピソードですが、今から2年ほど前、定年を迎えられる会社の先輩（総監技術士）が、書類を整理されている時に、「これ（青本）、あげるよ」と言っていて、私に青本を手渡してこられました。「ありがとうございます」と言って受け取ったものの、初めて青本を見たときは、内心「ややこしいこと書いているな」と思い、そのまま、机の引出に直行！！

月日が経過しある時、私がリーダーを務めるプロジェクトがなかなか上手く進まなく悩んでいた際に、たまたま、引き出しの奥底から「チラッと見えた青本」。パラパラとめくってみると、プロジェクトマネージャーとして必要な事項が網羅されている事に驚き、感動しました。これが総監を目指そうと考えた動機です。

## 2) 新しい事にチャレンジしたいという思い

生物工学部門の口頭試験を終えた直後、試験会場（渋谷フォーラム 8）の2階にある喫茶店でコーヒーを飲みながら、過去数年間を振り返り、①仕事、②受験勉強、③趣味（ドラム演奏）、いずれも充実していて楽しかったと回想しました。

その時に一瞬、総監の受験は1年後にしようかな？と頭をよぎりましたが、

①仕事、②受験勉強、③趣味（ドラム演奏）この3つのトライアングルをもう1年維持し、「総監に一発合格するぞ！！」と、チャレンジすることをその場で決断しました。ハードルが高いことは承知でしたが、純粋な気持ちで、新しい事にチャレンジしてみたいと考えました。

## 2. 受験勉強と仕事の両立

先にも述べましたが、受験勉強も生活の一部として楽しんでいましたので、受験勉強と仕事の両立について深く考えたことはありませんでした。ただ、今、思い起こせば、以下の3点が総監合格のポイントであったと考えます。これから技術士を目指される方は参考にして頂ければと思います。

- 1) 隙間時間の活用
- 2) 業務自体が受験勉強???
- 3) 技術士受験予備校の活用

### 1) 隙間時間の活用

通勤時間、昼休み、就寝前といった纏まった時間以外に、ちょっとしたバスや電車の待ち時間、娘にお風呂を占有され風呂が空くまでの待ち時間等、「細切れ時間」に勉強していました。細切れ時間を有効活用できるようにクラウドやスマホをフル活用しました。特に自身の声で録音し、繰り返し耳で学習・記憶するのが有効でした。

### 2) 業務自体が受験勉強???

業務中に受験勉強をしていた訳ではないですが、結果的に、業務を真剣にやっていること自体が受験の糧になっていたと考えます。

私は、青本を自身のバイブルとして業務に活用していました。何か企画する時、困った時、仕事を仕上げる時など、業務のフェーズが変わる際には必ず青本の目次を見るようにしました。（総監合格後の現在もバイブルとして活用しています）恐らく、この習慣が、筆記試験、口頭試験に活きたのだと考えます。

### 3) 技術士受験予備校の活用

特に総監を受験する際は、「総監とは何か？」を理解する必要があります。

今まで、専門技術を中心に勉強してきたので、どうしても専門技術の殻を破るのが難しかったです。普段、意識せずに業務でやっている「業務全般を俯瞰して、全体を調整・マネジメント」しているにも関わらず、その事を意識して論文表現することが難しかったです。どうしても技術的な視点から抜け出せず・・・。

結局、自身では自分の論文のどこが悪いのか気がつくことはできないので、第三者に添削・アドバイスをもらうことが、合格への近道だと考え、技術士受験予備校にお世話になりました。一発合格するために、「時間をお金で買うこと」を決断しました。

### 3. 今後の抱負

ちょうど 50 歳になりましたが、まだまだ、これから新しい事にどんどんチャレンジしてゆきたいと考えます。特に以下の 3 点を充実させたいと考えます。

1) 会社では開発部門に在籍しており、持続可能な社会を実現すべく、バイオ分野で世の中に貢献できればと考えています。また、部下の育成にも注力してゆきたいと考えています。総監技術を活用して、プロジェクト成功請負人のような存在になりたいと考えます。

2) 趣味のドラム演奏ですが、学生時代の仲間と毎年、100 人規模のライブを開催しており、これを今後も継続してゆきたいと考えています。

このライブを励みに、毎週プロの先生からレッスンを受け、また、バンドの仲間と週末にはスタジオで練習しています。音楽の演奏も研鑽を積んでいます。(研鑽＝息抜き)

3) 最後に、本投稿の中で最も大切なことですが、これから、中大技術士会で、技術者としての能力開発や母校の発展の一助となるよう、頑張っ参りたいと考えます。

何卒、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

以上

#### ※編集者注記

国友信秀さんの投稿エッセイで紹介されている「青本」は、日本技術士会からの頒布が既に終了していますが、この本の中の「Key Words」については、「総合技術監理部門 キーワード集(2020)」として公開されています。

総合技術監理部門受験にご興味のある方は、下記 URL をご参照ください。

「技術士制度における総合技術監理部門の技術体系(第2版)」頒布の終了

[https://www.engineer.or.jp/c\\_topics/000/000751.html](https://www.engineer.or.jp/c_topics/000/000751.html)